


【奨 励 賞】



氏 名 張 栩
(ジョン シュ)

国・地域 中国 

在日期間 4 ヶ月

学 校 鹿児島県立短期大学

タイトル : 大好きな日本に嫌われている私？

皆さん、こんにちは。日本が大好きで中国の大学で日本語を専攻し、今、交換留学生として鹿児島県立短期大学で勉強しています。日本が大好きな私ですが、日本にやって来てすぐ、日本人の中国について抱いているイメージがあまりよくないことに気づきました。もしかしたら、私は大好きな日本に嫌われているのか、と思うと悲しくなります。

そもそも日本人の持つ中国のイメージはどうやって作られるのでしょうか。まずは、メディアの影響が大きいと考えます。YouTubeで「中国」をキーワードに調べたら、出てきたのは中国人のイメージを悪くするような映像や書き込みばかりです。例えば、「中国人女性が大阪の飲食店でエビの殻を床に落としたり、大声で怒ったりしていたこと」などです。その女性の行為は中国でも批判されています。そもそも私は中国でもそのような行為をする人は、一人も見ることがありません。よほどマナーの悪い人だと思います。同じ中国人として、とても恥ずかしいです。中国人でも、お店の人に感謝の気持ちを持ってきれいに食べる人が圧倒的に多いはずですが。メディアから流れてきた悪いニュースによって、中国人に対する悪いイメージが作られることが、本当に残念です。でも、これは仕方がないことかもしれません。その国の人を個人的に知らなければ、メディアの作ったイメージをそのまま受け入れることになりやすいからです。メディアの報道の傾向が変わらなければ、個々の日本人が、ある日中国人と知り合って、中国人の優しさや、面白さ、マナーの良いところを見て、その先入観を覆すのを待つしかないのかもしれない。

しかし、一口にマナーが悪いといっても、国によってルールや慣習が違い、同じことの捉え方も違う場合があります。「中国人は公の場でよく大声で話す。」という批判があります。それは事実です。日本と比べ、広い中国では、昔、家々が離れていて、相手がよく聞こえるためにみんな大声で話していた名残だと思っていました。しかし、先日ネットで見たこんな書き込みで、声の大きさだけが問題ではないことに気づきました。それは、あるおじさんが、隣のテーブルの人に「家じゃないんやから静かにしろよ。」と

怒ったというものです。中国だったらおそらく「家じゃないんやから、騒ぎ声ぐらい我慢しろよ。」になると思います。つまり、飲食店など公衆の場の捉え方が違います。中国では、誰も静かな飲食店で食べたいと思わないはずで、静かなお店より賑やかなお店のほうが楽しんでいる雰囲気が良く出ます。もちろん本当にうるさいのがいやだと思う客は有料の個室を利用すればいいのです。ということは、静かな食環境は特別なサービスとして、お金がかかります。

このように、中国人のマナーが悪いという印象は、中国と日本の慣習やルールが違うことにも起因すると思います。私は鹿児島に来てからの数ヶ月間、きっと様々なルールを違反してきました。しかし、友達を嫌うのではなく、ちゃんとルールを教えてくださいました。本当にありがたいと思っています。

もうすぐ帰国です。今回のスピーチの原稿を書きながら、私は考えました。中国に帰ったら、日本で習ったことや、出会った日本人の姿を中国のみんなに伝えよう。そうすれば、メディアに反面材料として取り上げられるマナーの悪い中国人を減らすことができるかもしれません。メディアの大きな影響力に抗うことができないかもしれませんが、それは、きっと日本と中国の両方を知っている私のやるべきことだと思います。みなさんもそう思いませんか。

ご清聴ありがとうございました。